

めざせ! One大阪

ISHIN TIMES

Vol.3

2017

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

OneOsaka!

大阪維新の会

めざせ! One大阪

ISHIN TIMES

Vol.3

2017

大阪維新の会 坂上敏也の府政報告

外国人にもわかりやすい 標識等の整備を

「押しボタン式信号機」に 英語、中国語、韓国語の表示板取り付けなど

大阪府議会 9月定例会 警察常任委員会

坂上敏也

自転車利用者の 交通ルールが守られていない

坂上敏也

大阪府では、関西の観光インパクトの拠点を目指しているが、先日、大阪市内で、外国人の方が「押しボタン式信号機」で、押ボタンを押さずに長時間信号待ちしている姿を目にした。日本語の表示板が付いているが、おそらく日本語を理解しておらず、「押しボタン式信号機」であることが、わからなかったのだと思う。

訪日外国人ための標識等の整備方針について伺う。

警察本部長

大阪府警察では、現在、外国人が多く訪れる観光地周辺等に設置している「押しボタン式信号機」に、わかりやすく安全に道路を横断していただけるよう、日本語に加えて、英語、中国語、韓国語の3か国語と、指でボタンを押す動作の絵を表した表示板の取り付けの整備を進めている。

また、道路標識については、本年7月1日に標識表示例が改正され、従来の「一時停止」標識の「止まれ」という文字の下に「STOP」という英字を併記した様式が新しく追加されている。

大阪府警察では、キタやミナミなど、外国人が多く訪れる地域を中心として、順次、従来の標識から新様式の標識へと更新を行なう。

中司 宏 政調会長

ご指摘のとおり、自転車の安全を確保するために設置した自転車通行空間を、右側通行で逆走するような無謀な運転をしている状況がよく見られる。

そのため、道路交通の象徴的なルールの一つである「車両の左側通行」いわゆる「キープレフトの原則」を徹底することにより、自転車利用者にも「車両の運転者」としての自覚をしっかりと持っていたい。また、交通ルールを遵守する意識を高めてまいりたいと考えている。

具体的には、本年9月1日から、自転車通行空間が整備された東警察署管内の本町通において「自転車左側通行徹底キャンペーン」を開始し、左側通行を徹底するための広報啓発や指導取締り活動を実施しているところで、この効果を検証した後、順次、府下全域へと拡大することとしている。また、優良企業の認定制度など、既存の自転車対策を拡充していくとともに、交通情勢に応じた新たな取り組みを効果的に展開し、今後も自転車の事故防止に努める。

府政に関する相談やお問合せは

大阪維新の会 大阪府議会議員 坂上敏也 事務所

〒542-0012 大阪市中央区谷町2丁目7-6-604
TEL (06) 6946-2266 FAX (06) 6946-2267
URL <http://toshiyasakagami.com>
E-mail sakagami-ishin@gmail.com

大阪維新の会 大阪府議会議員団

2025国際博覧会を 大阪・関西へ

現在、インバウンドの増加などによる関西経済の好調が期待される中、さらにこの流れを確実なものにするためにも大阪・関西発展の起爆剤になる大きな「仕掛け」が必要です。

世界の人々が集い、ともに考え、行動する国際博覧会(万博)は、まさに大阪・関西の魅力やボテンシャルを世界に発信する絶好の機会となります。

2025国際博覧会開催の誘致実現に向け、府内における“盛り上がり”に皆様のご協力をお願いいたします。

誘致活動のロゴマーク：世界の人々を笑顔にさせるデザイン

万博の大阪誘致に向けた国内機運の醸成を

9月定例府議会代表質問 維新府議団 中司 宏 政調会長

中司 宏
松井知事

他の立候補国との熾烈な競争に勝ち抜くには国内機運の醸成、特に地元大阪の盛り上がりが不可欠。年明けのBIE調査団の視察に向け、行政や企業が柔軟な発想で自発的な取組みを進めるべき。

開催国決定が1年後に迫る中、誘致機運の醸成には、あらゆる主体が自発的に盛り上げていくことが重要。この間、各方面的積極的な働きかけで誘致委員会の会員数は当初の約150から8万を超えるまで拡大。この2ヶ月で企業数は約1,100から約2,100に、自治体は約100から約140に増加した。更に賛同の輪を広げるため、誘致委員会の中核的な役割を担う3府のトップとして、関係機関と連携しながら、あらゆる機会を通じて誘致活動への積極的な参加を働きかける。

大阪万博の会場構想案

基本「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿って 世界の人々が交流しながらつくる未来社会を会場全体で表現します

大阪市的人工島・夢洲内の155ヘクタールを会場とし「空」と呼ばれる屋根付きの大広場を5カ所設置。来場者の交流や、現実の空間の一部に仮想空間を重ね合わせる拡張現実(AR)などの最新技術を活用したイベントの場にするほか、会場の南には水上エリアを設け、付近にホテルを建設します。

大阪万博会場のイメージ図
会場中心部のビーチ等、両側水面に水上施設等、西側陸地にアートドーム施設等をそれぞれ整備

「空」と呼ばれる屋根付きの大広場のイメージ図
AR(拡張現実)・MR(混合現実)技術を活用した展示やイベントなどをを行い、来場者の交流の場とする

南西側を望む夕景の会場鳥瞰図
淡路島、明石海峡大橋を背景に美しい夕景が広がる

2025 大阪万博の開催計画

- テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン
- 会場：大阪湾の人工島「夢洲」
- 期間：2025年5月3日～11月3日 (185日間)
- 参加者：150の国を含む166の参加機関
- 達成目標：会場へ来場者：約2800万人
- バーチャル来場者：最大80億人

開催地の決定まで想定スケジュール

- 17年 9月 正式に立候補申請文書をBIEに提出
- 11月 BIE総会でプレゼンテーション(2回目)
- 18年 1月 BIEが候補地の現地調査(1週間程度)
- 6月 BIE総会でプレゼンテーション(最終)
- 11月 BIEが加盟国(※)の投票で開催地決定

他の立候補の国と開催都市

国名(都市名)	テーマ
フランス(パリ)	共有すべき知識、守るべき地球
ロシア(エカテリンブルグ)	未来の世代へ、包摂的技術革新
アルゼンチン(ブエノスアイレス)	人間の普遍

誘致委員会の会員になって応援しよう！ 会費は無料

<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/> | EXPO 2025 検索

会員募集 | 誘致委員会ホームページ | 会員募集 | 会員登録フォーム | から登録